気象レーダーの進歩

令和7年10月17日 江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

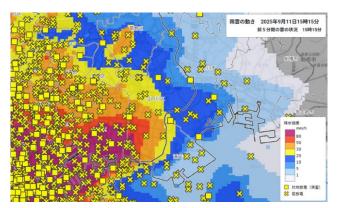
10月は秋空の美 しいシーズンですね。一方では、 まだ台風シーズンでもあります。過去には「節久根 ひがしにほんたいふう ねん 【東日本台風(2019年)」な 台風(1945 年)」 がい たいふう にほんれっとう おそ むかし ど、命名された台風が日本列島を襲っています。昔 は、日本列島に近づいている台風が今どこに来ている のかすぐ分からなかったため、出航した客船が暴風 たかなみ ちんぽつ おお こども とうこう と ちゅうと 高波により沈没したり、多くの子供が登校途中 に



まかっ はば いぼうふう おき たま たま もくそうこうしゃ した じ 急 に激しい暴風に襲われ、倒れた木造校舎の下敷きになったりしました。

が全国的に始まり、インターネットで配信できるようになりました。

15



気象レーダーがとらえた雷雲 (気象庁 HP より)

にほんふきん たいふう 日本付近の台風についての観測に大きく役立っ たのが気象レーダーでした。富士山頂の測候所に 設置され、1965年に観測が始まりました。富士山 レーダーはその年の8月、関東南部に接近し上陸 する台風第17号の眼を見事に捉えたのです。レー ダーで台風の今の位置や強さが分かり、減災に大 きく貢献したのです。その後、気象レーダーは新 しく各地に設置され、台風だけでなく雨雲の観測

また、「ドップラーレーダー」が開発され、竜巻が発生する雲をとらえることが可能になりま ちてん こうすいりょう わした。その地点の降水量も分かるようになり、記録的短時間大雨情報や線状降水帯発生に関 する情報も発するようになりました。こうした情報やインフラの整備などで死者は昔より少 なくなりました。情報を生かし、命を守る行動に繋げていくことが大切です。

2025年10月17日11時 気象庁 今日 明日 明後日 日付 17日(金) 18日(土) 19日(日) 晴時カ墨 晴後曇 曇後一時雨 東京地方 降水確率(%) -/-/0/0 0/0/10/20 50 信頼度 24 東京 最高 25 26 (23~27) 気温 17

(°C)

最低

東京地方の週間天気予報より

(気象庁HPから抜粋)

土曜日は晴れそうですが、日曜日は曇りから 一時雨が降る予報です。なお、来週は曇りや 雨の日が多く、気温も下がりそうです。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られ